

中期経営計画の概要

中期経営計画～Sustainable Growth 2030～(2021年3月期～2023年3月期)は、今後10年の外部環境の変化を見据えた中長期戦略における最初の3年間で位置付けました。アセット価値創出力※を発揮する「アセットビジネスのプラットフォームカンパニー」として、グローバルアセット分野、社会資本分野、再生可能エネルギー分野を注力分野として、メガトレンドを踏まえた社会的課題の解決に貢献していきます。

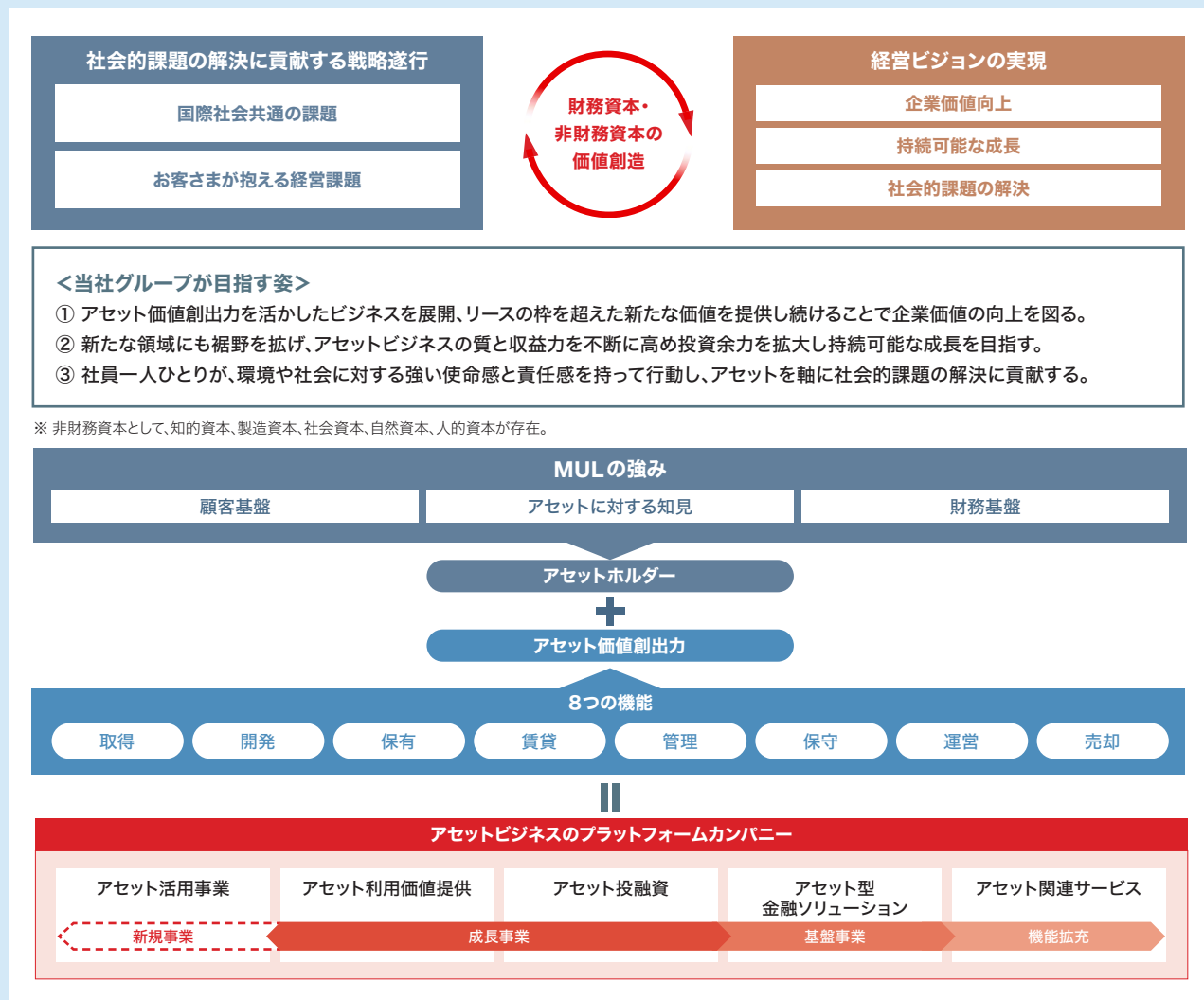
※「アセット価値創出力」とは、価値創造に資する業務を次々と創出し提供することで、直面する課題の阻害要因を解決するイニシアティブを発揮、お客さまやパートナーの競争力向上を実現する力。ここで言う「アセット」とは、情報化資産(ソフトウェア・データベース)、革新的資産(研究開発・ライセンス)、経済的競争力(人材・組織)等の無形資産を含む。

■ 外部環境(メガトレンド)

急激な都市化の進行	気候変動と資源不足	人口構造の変化
新興国では今後次々に新しい都市が出現。インフラ整備に多額の投資が必要に。	気候変動と資源不足が社会・経済に与える影響は、ますます深刻に。	人口が爆発的に増加する一方で、別の地域では人口が減少。経済のパワーシフトから資源不足、社会通念が変化。
世界の経済力のシフト	テクノロジーの進歩	多極化する世界
構造変化により世界経済と事業活動の様相も変わり、資本の流れも変化。新興国間での資本の流れが急速に拡大。	ナノテクノロジー分野における飛躍的進歩やその他の研究開発分野の最先端技術で、新規投資の機会が増加。	自由市場・民主主義を共通理念とする国際秩序や国際関係のあり方が変貌。地政学リスクはより複雑化。

■ 10年後を見据えて目指す姿

中長期的な外部環境の変化を見据えて、社会的課題の解決に向け、財務資本・非財務資本※の価値創造に注力することで、「企業価値向上」「持続可能な成長」「社会的課題の解決」を実現していきます。



■ アセットビジネスのプラットフォームカンパニー

当社の強みであるリース事業によって蓄積してきた「アセットに対する知見」をベースに、「顧客基盤」と「財務基盤」を活用し、アセットホルダーとして「アセット価値創出力」を活かしたビジネスを積み重ねていくことで、アセット価値を収益化していく「アセットビジネスのプラットフォームカンパニー」を目指します。

■ 注力分野

メガトレンドを受けて、SDGsをはじめとした地球規模の社会ニーズが存在している中で、当社グループの強みである地球規模の陸海空輸送分野の「グローバルアセット」に加えて、先進国の更新需要や新興国の新規需要に対する「社会資本」への投資、気候変動や資源不足への対策である「再生可能エネルギー」の3分野主体にグループの総力を挙げて取り組むことで、中長期的な社会的課題の解決に貢献します。

